57 ムーンショット型農林水産研究開発事業

令和8年度予算概算要求額 100百万円(前年度 100百万円)

く対策のポイント>

総合科学技術・イノベーション会議等が決定したムーンショット目標 5 「2050年までに、未利用の生物機能等のフル活用により、地球規模でムリ・ムダのない持続的な食料供給産業を創出 |の実現に向け、研究開発プロジェクトを実施します。

〈事業目標〉

①生物機能をフル活用した完全資源循環型の食料生産システム及び②健康・環境に配慮した合理的な食料消費を促す解決法に関する2つのプロトタイプを 完成「2030年まで〕

く事業の内容>

困難だが実現すれば大きなインパクトが期待される社会課題等を 対象とした目標を設定し、その実現に向けた様々な研究アイデアを 国内外から結集し、研究開発を推進するため、生物系特定産業技 術研究支援センターに基金を設置し、中長期にわたる研究開発を 弾力的かつ安定的に実施します。

本事業では、ムーンショット目標 5 の実現に向け、新たな社会情勢を踏まえた政策課題も踏まえ、グリーン及びバイオ分野等の研究開発プロジェクトを推進します。

く事業イメージ>

ムーンショット目標5

「2050年までに、未利用の生物機能等のフル活用により、地球規模でムリ・ムダのない持続的な食料供給産業を創出」

【実施中の研究開発プロジェクト】

- 〇食料供給の拡大と地球環境保全を両立する 食料生産システムの開発
 - ・作物デザインによる環境に強靭な作物の開発
 - ・土壌微生物機能の解明と活用
 - ・細胞培養による食料生産
 - ・化学農薬に依存しない害虫防除
 - ・牛からのメタン削減と生産性向上の両立

○食品ロスゼロを目指す食料消費システムの開発

- ・食品残渣等で飼育した昆虫の飼料化等
- ・未利用生物資源を活用した未来型食品の開発
- ・食品の革新的長期保存技術の開発







⇒ ムリ・ムダのない食料供給産業を創出

みどりの食料システム戦略 2050年カーボンニュートラルの実現

ムーンショット目標の実現に向けたプロジェクトの推進

<事業の流れ>

玉

定額

生物系特定産業技術 研究支援センター



民間団体等 (公設試、大学を含む)

「お問い合わせ先」農林水産技術会議事務局研究推進課(03-3502-5530)